

2025年6月27日

ロードスポーツモデル「GB350」「GB350 S」のカラーバリエーションと一部仕様を変更し発売

Hondaは、空冷・4ストローク・OHC・単気筒348cm³エンジンの心地よい鼓動感と、シンプルでありながら存在感際立つスタイリングが魅力のロードスポーツモデル「GB350」と「GB350 S」のカラーバリエーションと一部仕様を変更し、**8月28日(木)**にHonda Dreamより発売します。



GB350 (パールホークスアイブルー)



GB350 S (ヘビーグレーメタリック-U)

GB350は、深みのある青を基調としたツートーンカラーのパールホークスアイブルーと、精悍な印象のマットバリスティックブラックメタリック、上質感のあるクラシカルホワイトの全3色の設定としています。また、テールランプのレンズをスマート調にすることで、シャープでよりスタイリッシュな印象としています。

GB350 Sは、燃料タンク上部に配したストライプが特徴のヘビーグレーメタリック-Uと、金属質感が際立つベータシルバーメタリックの全2色の設定としています。

GB350、GB350 Sとともに、メーターは、文字盤を新たなデザインにしたほか、縁取る装飾リングをメッキとすることで上質感を演出しています。灯火器は、ヘッドライトの照射範囲を夜間時の視認性により配慮した特性に変更しています。

●販売計画台数（国内・年間） シリーズ合計 4,500台

●メーカー希望小売価格（消費税10%込み）

GB350 パールホークスアイブルー 671,000円（消費税抜き本体価格 610,000円）
マットバリスティックブラックメタリック、クラシカルホワイト

649,000円（消費税抜き本体価格 590,000円）

GB350 S ヘビーグレーメタリック-U 715,000円（消費税抜き本体価格 650,000円）
ベータシルバーメタリック 693,000円（消費税抜き本体価格 630,000円）

* 価格（リサイクル費用を含む）には保険料・税金（消費税を除く）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター 0120-086819」へお願い致します。

主要諸元

通称名	GB350	GB350 S
車名・型式	ホンダ・8BL-NC59	
全長×全幅×全高 (mm)	2,180×790×1,105	2,175×780×1,100
軸距 (mm)	1,440	
最低地上高 (mm)★	166	168
シート高 (mm)★	800	
車両重量 (kg)	179	178
乗車定員 (人)	2	
燃料消費率 ^{※1} (km/L)	国土交通省届出値 定地燃費値 ^{※2} (km/h)	47.0 (60) <2名乗車時>
	WMTC モード値★ (クラス) ^{※3}	39.4 (クラス 2-1) <1名乗車時>
最小回転半径 (m)	2.3	
エンジン型式・種類	NC59E・空冷 4ストローク OHC 単気筒	
総排気量 (cm ³)	348	
内径×行程 (mm)	70.0×90.5	
圧縮比 ★	9.5	
最高出力 (kW[PS]/rpm)	15[20]/5,500	
最大トルク (N・m[kgf・m]/rpm)	29[3.0]/3,000	
燃料供給装置形式	電子式<電子制御燃料噴射装置 (PGM-FI)>	
始動方式 ★	セルフ式	
点火装置形式 ★	フルトランジスタ式バッテリーポイント火	
潤滑方式 ★	圧送飛沫併用式	
燃料タンク容量 (L)	15	
クラッチ形式 ★	湿式多板コイルスプリング式	
変速機形式	常時噛合式 5段リターン	
変速比	1速	3.071
	2速	1.947
	3速	1.407
	4速	1.100
	5速	0.900
減速比 (1次★/2次)	2.095/2.500	
キャスター角 (度) ★/トレール量 (mm) ★	27°30' / 120	
タイヤ	前	100/90-19M/C 57H
	後	130/70-18M/C 63H 150/70R17M/C 69H
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	スイングアーム式
フレーム形式	セミダブルクレードル	

■道路運送車両法による型式指定申請書数値 (★の項目は Honda 公表諸元) ■製造事業者／本田技研工業株式会社

※1 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境（気象、渋滞など）や運転方法、車両状態（装備、仕様）や整備状態などの諸条件により異なります

※2 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です

※3 WMTC モード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます